



AMAZONE



シードドリル  
D9



ISEKI



## あらゆる状況に対応する信頼性と柔軟性

1. 大容量種子ホッパーと、機械駆動式バリオギアボックスにより、信頼性の高い播種量を実現

2. リフトパックシステムにより、KE、KG各種のパワーハローを工具なしで簡単に着脱可能

3. 種子ホッパーへの安全な充填をサポートするためのラダーとステップ

4. 播種深さ制御とクリーニング機能を備えたローテックシングルディスクコールターは、プラウ耕後の播種やパワーハローコンビネーション播種に対応しています。また、サフォークコールターと組み合わせることで、従来方式の播種も可能

5. エクストラハローで播種溝をきれいに覆土



2.5, 3, 3.5  
または 4 m



12 ~ 16.6 cm



360 ~ 1,380 ℓ  
ホッパー容量



最大車速  
10 km/h



## リフトパックシステム



## 脱着可能 — 賢く、シンプル、そして柔軟

D9シードドリルは単体でも使用できますが、わずか数ステップでパワーハローやロータリーカルチベーターと組み合わせて使用することも可能です。リフトパックシステムをD9シードドリルと組み合わせることで、工具を使わずに、様々なAMAZONE土壌耕起機に簡単かつ迅速に接続できます。



## ローラードリルシステム(RDS)

### RDSのメリット

- ① 鎮圧ローラーによって均一に播種床をしめる。
- ② ローテックコルターによって播種深さを均一にする。
- ③ ローラーハロー及びエクストラハローによって覆土する。



## コンビネーション可能な パワーハロー

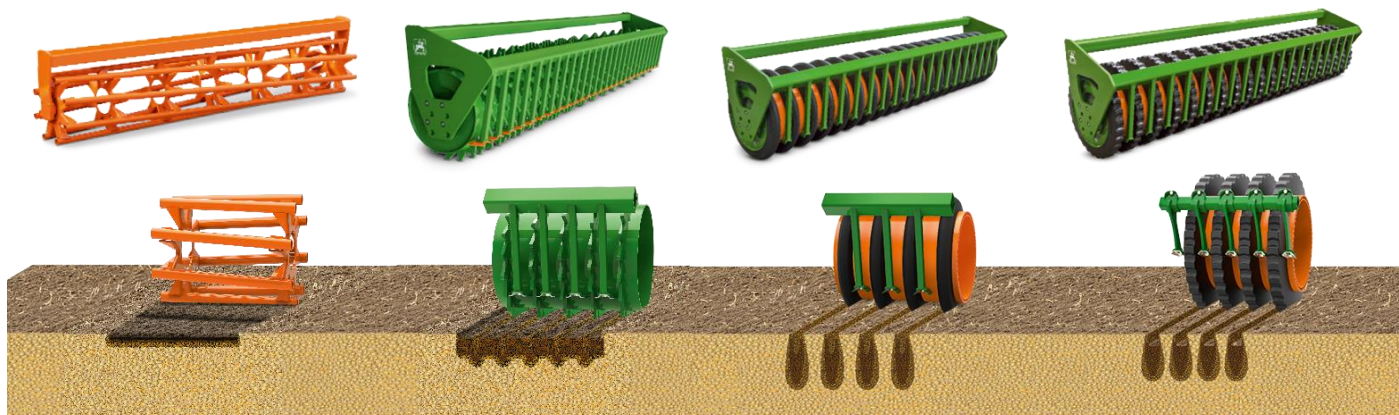


KE 02 ロータミックスパワーハロー



KG ロータリーカルチベーター

## 幅広いローラーの種類 — あらゆる圃場に最適なローラー



ケージローラー

ツースパッカー  
ローラー

ウェッジリング  
ローラー

マトリックス  
ウェッジリングローラー

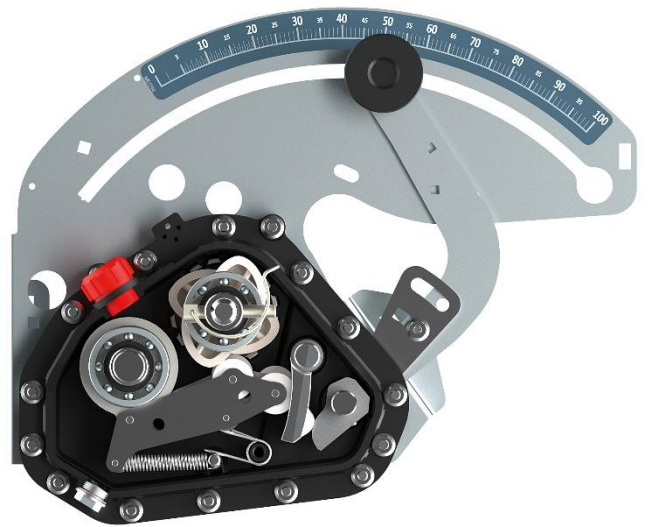
## 無段階調整可能なバリオギアボックス

シードドリルにおいて最も重要な部品は繰り出しホイールシステムです。ホッパーから種子が正確に繰り出されない場合、播種量に過不足が生じ、横方向の分布も不均一になります。その結果、圃場での発芽にばらつきが発生し、密集した箇所では生育が阻害され、まばらな箇所では雑草が繁茂しやすくなります。この点において、アマゾーネのD9は優れた性能を発揮します。無段階調整が可能なバリオギアボックスによりスムーズな繰り出しを実現し、1haあたり1.5kg~400kgまで対応可能です。菜種、牧草、穀物、エンドウ豆、豆類など幅広い作物に対し、小規模から大規模まで高精度かつ信頼性の高い播種を実現します。



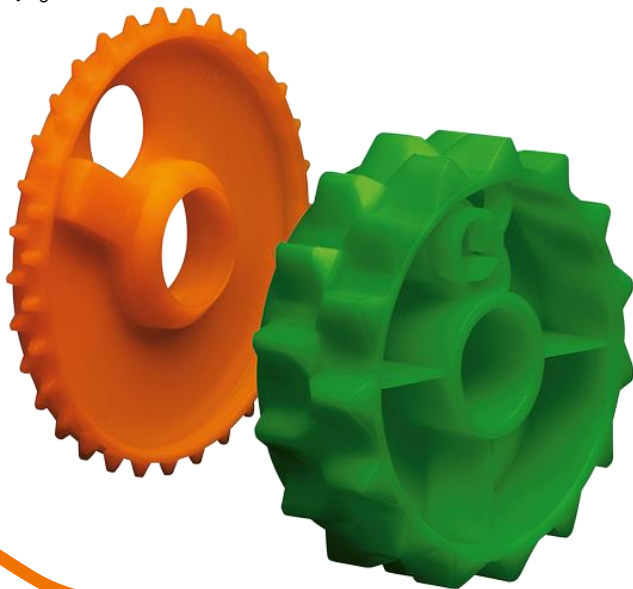
## 簡単なキャリブレーション

種子の流動特性と縦方向の分布に関して、播種量制御がさらに最適化されました。これは、直径80mmの「コントロール」繰り出しホイール、ボトムフラップ、繰り出しハウジングの組み合わせによって実現されています。繰り出しホイールの大径化により、より最適な播種量が可能となり、無段階変速のバリオギアボックスが繰り出しホイールへの均一な駆動を確保します。



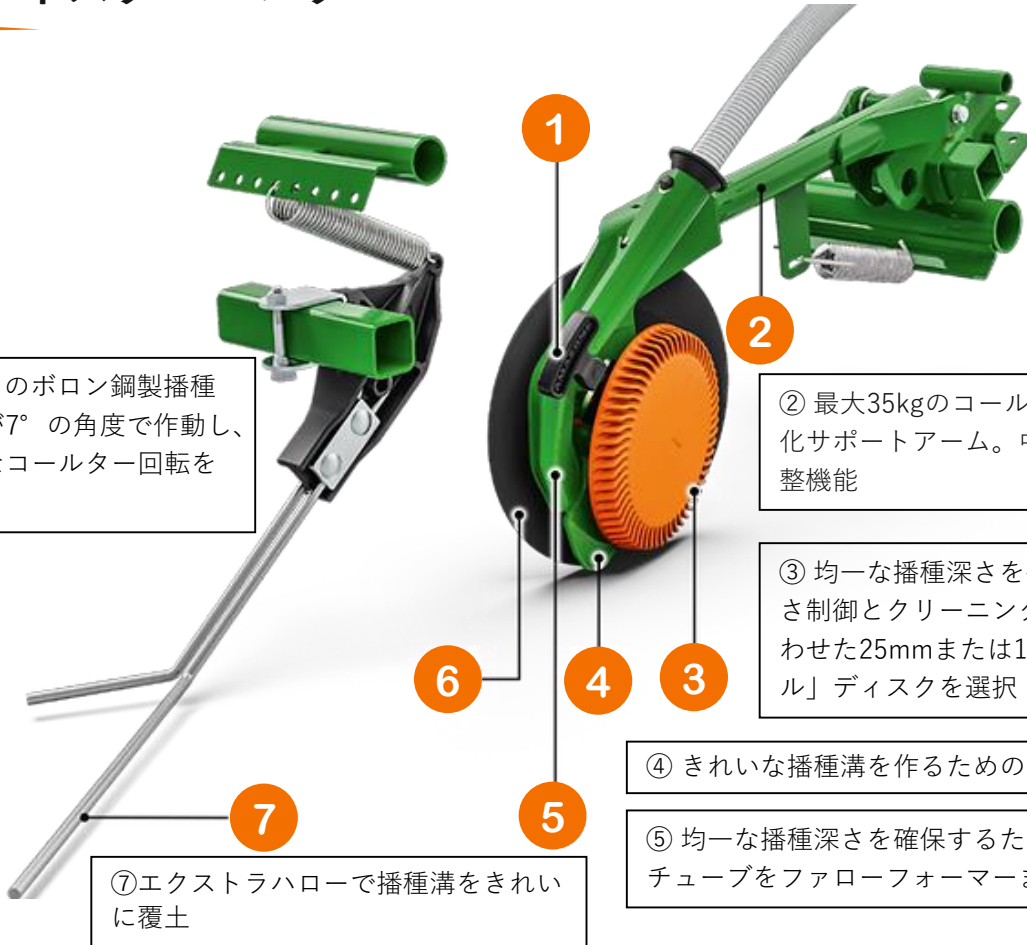
## 繰り出しホイール

細粒用繰り出しホイール（オレンジ）と標準種子用繰り出しホイール（緑）を組み合わせることで、繰り出しホイールを交換することなく、1.5kg/haから400kg/haまでの播種量に対応できます。播種量の切り替えも、スライドを動かすだけで簡単に行えます。



## メンテナンスフリーの ローテックシングル ディスクコールター

① 工具不要で播種深さを3段階で調整可能



⑥ 320mm のボロン鋼製播種ディスクが7° の角度で作動し、スムーズなコールター回転を実現

② 最大35kgのコールター圧に対応する強化サポートアーム。中央コールター圧調整機能

③ 均一な播種深さを確保するために、深さ制御とクリーニングディスクを組み合わせた25mmまたは10mmの「コントロール」ディスクを選択

④ きれいな播種溝を作るためのファローフォーマー

⑤ 均一な播種深さを確保するため、種子ガイドチューブをファローフォーマーまで設置

⑦ エクストラハローで播種溝をきれいに覆土

### 信頼性と精度

ローテックコールターはメンテナンスフリーで、藁や植物残渣が大量にある圃場でも非常に高い信頼性で作動します。ローテックコールターとファロー・フォーマーが理想的な播種溝を形成し、土壌への最適な種子配置を実現します。コントロール10mmまたはコントロール25mmは、土壌がコールターに付着するのを防ぎ、設定した播種深さを正確に維持します。

### □ 播種深さを3段階で正確に簡単に調整



コントロール10

コントロール25

### ローテックコールターのメリット

- ✓ 湿潤土壌や粘性土壌に最適な高性能シングルディスクコールター
- ✓ 播種深さディスクによる優れたセルフクリーニング性能
- ✓ ディスクコールターの深さと鎮圧をそれぞれ独立して調整可能

### コールター圧調整

- 1) ハロー圧100%
- 2) コールター圧100%



ローテックコールターは最大35kgの圧力で調整可能です。この圧力はコールターと後続のローラーに分配されることなく、コールターにのみ作用するため、アマゾーネの有効コールター圧は比較的高くなります。菜種の播種や乾燥条件下での早期播種においては、コールター圧を低く抑えた作業も問題なく行えます。

## プラウ耕後の播種に適した 堅牢で正確なコールター

サフォークコールターは、プラウ後の播種やナタネ収穫後など、残渣物が少ない条件での播種に最適です。コールター先端部には鋳造材を採用し、優れた耐久性を実現しています。摩耗時の交換も、ボルト1本の取り外しで迅速に行えます。3列配置と大きなオフセットにより、コールター間の詰まりを防止します。機種により条間は12.0cm、14.4cmまたは16.6cmから選択可能です。



バックアップ  
フラップ

コールター先端部

## バンドツーイングシュー

オプションのバンド播種は取り付けが簡単で、種子を広い帯状に配置できるうえ、播種深さを浅くするのにも役立ちます。



## コールター先端部

標準仕様のサフォークコールター先端部と最小限の手間で交換可能です。

## エクストラハロー仕様



播種溝の覆土と整地を行うエクストラハローは、個々に可動するため、圃場の起伏にも追従し、均一な覆土を実現します。ハロー圧は、ピンを差し替えるだけで簡単に調整することができます。

## ローラーハロー仕様



播種溝を鎮圧することで理想的な発芽条件を実現します。ローラー圧とコールター圧を独立して調整可能なので、ユーザーが希望する播種深さ、鎮圧の強さに調整可能です。

## D9 スペシャル

D9スペシャルは、作業幅2.5mと3mの2種類をご用意しています。コストパフォーマンスに優れたこの直装式シードドリルは、アマゾーネの厳格な品質基準を満たした魅力的なエントリーモデルです。播種量ならびに播種深さの精度は最高レベルで、一切の妥協を許しません。ホッパー容量は、それぞれ360ℓと450ℓです。

## AMALOG+ 信頼できる端末

AMALOG+操作ターミナルは、アマゾーネシードドリルの操作専用設計されています。操作は非常に簡単で、電源は3ピンプラグから供給されます。AMALOG+は、トラムラインとトラックマーカの制御が可能です。トラムラインの作成はセンサーによって管理され、リズム設定も簡単に調整できます。ディスプレイには、トラックマーカの作業位置、トラムラインのリズム、作業面積が表示されます。

※工場出荷時オプション

## AMACO(アマコ)

電子式ヘクタールカウンターAMACO（アマコ）は、作業済みの面積をリアルタイムで表示します。これはアマゾーネ製シードドリル D9 の標準装備品です。

## ホッパーカバー

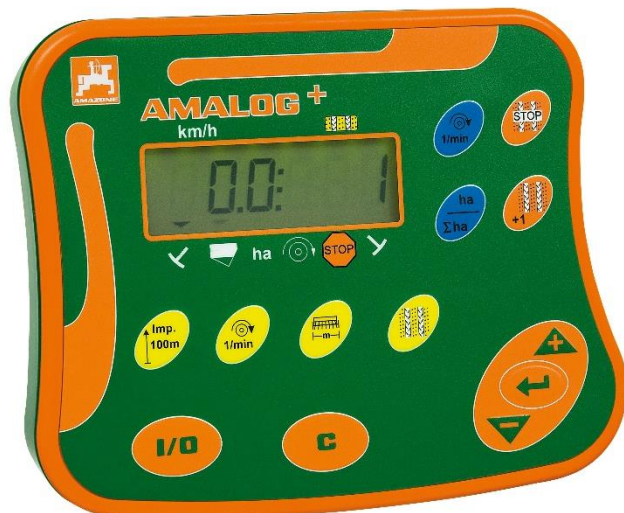
標準装備の種子ホッパーには、防塵・防水用のラバーシールを備えた堅牢な折りたたみ式カバーを採用しています。操作性にも優れており、軽い力で開閉が可能です。ホッパー容量は360ℓから1,380ℓまで、用途に応じて選択可能です。

## シンプルな機械セットアップ

D9は、播種量、タイヤ跡消し装置、播種深さ、コールター圧など、あらゆる設定を手動で簡単に調整できます。つまり、作業に最適な設定を常に維持することができます。

## D9 スーパー

D9スーパーは、作業幅3m、3.5m、4mのモデルをご用意しています。ホッパー容量は600ℓから最大1,380ℓまで対応しています。スペシャルと同様、播種量ならびに播種深さの精度は、一切妥協を許しません。





型式	D9 2500 Special	D9 3000 Special	D9 3000 Super	D9 3500 Super	D9 4000 Super
作業幅 <sup>1</sup> (m)	2.50	3.00	3.00	3.50	4.00
最低所要馬力 <sup>2</sup> (kW/PS)	44/60	55/75	44/60	55/75	70/93
コールター - 条数	15/17/21	18/21/25	18/21/25	21/25/29	24/29/33
コールター - 条間(cm)	12.0/14.7/16.6	12.0/14.3/16.6	12.0/14.3/16.6	12.0/14.0/16.6	12.0/13.8/16.6
ホッパー容量(ℓ)	360	450	600	720	830
ホッパー容量増し枠付き(ℓ)	-	850	1,000	1,200	1,380
機体重量サフォーク <sup>3</sup> (kg)	630	690	780	918	1,070
機体重量ローテック <sup>3</sup> (kg)	710	760	850	1,010	1,180

<sup>1</sup> 実際の作業幅は、コールターの種類によって最大3.2cmの誤差が生じる場合があります。図、内容、技術データは拘束力を持つものではなく、装備仕様によって異なる場合があります。各国の道路交通法規が適用され、これを遵守する必要があります。そのため、特別な承認が必要となる場合があります。トラクターの許容軸重および総重量をご確認ください。記載されているすべての組み合わせオプションが、すべてのトラクターメーカーで使用できるわけではありません。

<sup>2</sup> 単体使用での最低所要馬力

<sup>3</sup> 機械式コールター圧力調整、エクストラハロー、トラックマーカ、トラムラインコントロールを備えたベースマシンの重量です。



● 主要諸元は改良のため、予告なく変更する場合があります。● 商品は写真と異なることがあります。● 保証書はご購入の取扱店で、必ずお受け取りください。



ISEKI Japan

株式会社ISEKI Japan

〒116-8541 東京都荒川区西日暮里5丁目3番14号

<https://www.iseki-japan.co.jp/>

2026年3月作成

製品についてのご相談・ご意見は下記の取扱店までご連絡ください。

担当者

## + 安全は私たちの願いです。

- 製品のお取扱いに当たっては製品に添付されている「取扱説明書」をご熟読のうえ、安全に注意してご使用ください。
- ヘルメットは必ず着用し、作業に適した服装で安全確保を心掛けましょう。
- 事故や故障を未然に防ぐため、点検整備を必ずおこなってください。
- 無理な運転は商品の寿命を縮め、事故や故障の原因となることがあります。

